

平成27年度第4回神岡地域協議会会議録

平成27年10月28日

神岡地域協議会

平成27年度第4回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 平成27年度 地域枠予算の支出状況について	3
(2) 地域づくり事業補助金について	3
(3) 地域枠予算活用事業について	8
■その他	12
・平成27年度 神岡地域協議会 視察研修について	12
・平成27年度 大仙市地域協議会 委員研修会について	12
■閉会	14
■署名	15

平成27年度 第4回神岡地域協議会 会議録

■日 時：平成27年10月28日（水） 午前9時30分

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 12名

鈴木和栄、齊藤由紀、石山美恵子、工藤昌子、
今野公行、齊藤恵子、齊藤 劼、齊藤 亘、
佐々木 徹、鈴木幸一、鈴木美保、中村淑子

■欠席委員： 4名

伊藤公仁、黒川 茂、齊藤博伸、佐々木康浩、

■出席職員： 4名

伊藤利之（神岡支所長）
石山尚英（市民サービス課長）
富樫一哉（地域活性化推進室主席主査）
今野洋樹（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 協 議
 - （1）平成27年度 地域枠予算の支出状況について【報告】
 - （2）地域づくり事業補助金について【協議】
 - （3）地域枠予算活用事業について【協議】
 - 6 そ の 他
 - ・平成27年度 神岡地域協議会 視察研修について
 - ・平成27年度 大仙市地域協議会 委員研修会について
 - 7 閉 会
-

(午前 9時30分 開会)

○石山市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ただ今から平成27年度第4回地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに鈴木会長よりご挨拶をいただきます。

○鈴木神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

おはようございます。昨日と今日は、まあまあの天気です。まだ10月ですが、すでに冬囲いに取り掛かっている方がいらっしゃいましたが、もう1か月間は大丈夫だと思えます。今日の協議会終了後に研修会も予定されておりますので、10時半を目途に終了させていただきたいと思えます。短い時間ではありますが、是非皆さんから活発なご意見を伺いたいとおもいますので今日はよろしくお願ひします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。
続きまして、伊藤支所長よりご挨拶を申し上げます。

○伊藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

本年度、4回目の地域協議会をお願いいたしましたところ、委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日の協議会で審議いただきます案件は、地域粋予算活用事業についてでございます。また、終了後、視察研修も予定されておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、前回の協議会以降の支所管内の主な事項について、いくつか報告させていただきます。

最初に9月1日に神岡地域の敬老会が西仙北のユメリアで行われております。参加対象者が1,057名の内、254名の出席となっております。すすくだけっこ園の園児による歌や踊り、フラダンス同好会のフラダンスショーがありまして、盛会裏の内に終了しております。それから、9月14日は、36回目を迎えました神岡南外花火大会が行われました。天候に恵まれまして主催者側の発表で11,000人、6,500発の花火が打ち上げられております。9月19日から5日間の日程で行われました第37回全県500歳野球大会でございます。昨年よりも3チーム増えまして過去最高の184チームの参加がございました。昨年、準優勝した大浦クラブの初優勝が期待されましたが、残念ながら準決勝で延長戦の末、6対7で敗退してござりまして来年度以降の初優勝に期待したいと思います。10月の17・18日は、かみおか地域文化祭が開催されております。例年どおりの作品展示や地元特産物の販売、Jinguji キャンで〜ずやマーチング等の催し物が行われております。特に17日のオープニングで行われましたリフォーム同好会のファッション

ンショーが好評でございました。10月22日は大仙市の安全安心推進集会在太田文化プラザで行われております。これは、長年にわたり交通安全運動や防犯活動をされた10名と1団体が表彰されております。当神岡地域では、大浦の高橋 一男さんと北檜岡の今 東雄さんの両名が表彰を受けております。それと、昨日ですが大仙市の金婚式が仙北ふれあい文化センターで行われております。市内全域で66組参加申請がございましたが、当日の参加者は54組でございました。その中で、神岡地域からは3組の出席となっております。

以上の報告を申し上げまして挨拶とさせていただきます。

○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例8条4項の規定に基づきまして、鈴木会長にお願いいたします。

○会長

はい。それでは会議を始めたいと思います。本日、伊藤公仁委員、黒川 茂委員、齊藤博伸委員、佐々木康浩委員より、欠席の届けが出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、1番石山美恵子委員と3番工藤昌子委員にお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに、地域枠予算活用事業についてであります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

【平成27年度地域枠予算の支出状況について、配布資料No. 1に基づき説明】

【地域づくり事業補助金について、配布資料No. 2に基づき説明】

○会長

それでは、資料No. 2の2事業について、1件ずつ協議していきたいと思います。

はじめに大曲青年会議所の「第9回全日本残月花火選手権大会」について、ご意見はございますでしょうか。

昨年度までの申請額が20万円でしたが、今年の申請額が30万円に増えた経緯を説明してもらえませんか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

昨年度の申請額は20万円でしたが、青年会議所の運営もなかなか厳しい状況であるということでした。そういった状況の中で、今年で9回目をむかえる残月

花火大会をこれまで通り継続してまいりたいということでした。

また、厳しい大会運営の状況でありますので、添付資料のとおり昨年度の運営費と比較して、かなり削減しているようでした。青年会議所でも、かなり努力の跡が見られたうえで10万円上乗せの申請でお願いしたいということでした。

○会長

事務局からの補足説明は以上ですが、皆さんから質問はありませんか。私の個人的な推測ですが、大仙市では花火に関連したイベントを多数開催しております。その影響で、残月花火大会に関係した青年会議所の予算も削減されたのかもしれませんがね。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

運営経費の中で削減した部分については、主に会場設営経費でございまして、仮設トイレや音響設備等を削減しております。

また、大曲の花火予算との関連については、事業主体が大仙市商工観光課ですので青年会議所とは別団体でございます。

子供たちの為にも残月花火の質と参加記念品は削減したくないですし、神岡地域の発展に資することも目的のひとつであることから、神岡地域協議会へ補助金の申請をしている状況であることをご配慮願いたいということでした。

○会長

他に質問はありませんか。過去の記憶をたどれば、初期の頃も30万円の補助金申請があったと思います。ですが、当時から20万円ということで補助してきたと記憶しております。今回、30万円の補助金申請を承認すれば、今後も青年会議所の予算不足という理由で地域枠予算から補うという発想になってしまいますね。

○齊藤 劭委員

青年会議所の予算が不足しているという理由で、毎年30万円を補助することになる可能性があると思います。事業としては大変すばらしい事業だと思います。

あと、事業収支予算書に保険料と明記されておりますが、大会に参加される子供たちにも保険を掛けると思いますので、事前に参加登録を行うということですね。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。参加者は事前の参加登録が必要です。したがって、参加者からも参加費を負担していただいております。

○齊藤 亘委員

この件について、毎年同じ質問をしてしまっていて申し訳ありません。この事業主体が

神岡地域だけでなく、大仙市全域にまたがる団体になっておりますので、神岡地域協議会から補助することに疑問を感じてしまいます。今後も青年会議所が事業主体となって大会を開催して事業規模が膨らむ場合は、他の地域からの協力も得て開催してもらえるように促す必要があると思います。

○工藤 昌子委員

今回で9回目の開催ということですが、参加する住民や販売する特産物について、神岡地域の関わりや影響がどの程度か知りたいと思います。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

申し訳ありません。その点につきましては、昨年の神岡地域からの参加者が、どの程度いたのか確認しておりませんでしたので、後程確認させていただきます。

○会長

先ほど質問がありました補助金交付の経緯についてですが、知っていらっしゃる方は少ないと思いますが、石山委員はご存じありませんか。

○石山 美恵子委員

以前は八幡神社の祭典のときに各町内で残月花火を打ち上げた経緯があったと思います。

○支所長

残月花火大会の開催経緯ですが、合併前に神岡の笹倉公園で神岡町商工会が主催して大会を開催しておりました。当時の神岡町役場の企画課及び産業課も協力いたしまして、数年間開催しておりましたが、平成19年から青年会議所に移行されて現在の体制として継続されております。それ以前は神宮寺の八幡神社の祭典時に各町内で花火を打ち上げておりました。今のような残月花火大会は、笹倉公園で20年以上前に商工会と町が共同で開催しておりました。

○会長

残月花火は神岡が発祥の地になっているのでしょうか。

○支所長

残月花火大会を開催しているのは、全国で見ても神岡地域だけだということで、数年前から全国大会をいう名称にしております。大会という形でなければ実施しているところもあるかもしれません。

○会長

もともと神岡で主催していたものが、実施できなくなったことにより、青年会議所が主催して実施するようになったという経緯ですね。私の記憶では、笹倉公園で実施したときは神岡塾の皆さんが主催されていたと思います。その後、青年会議所が引き継いだということですね。この件に関して他に質問や意見はありませんか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

事務局からですが、補助金を今年度から増額する件について、ご納得いただけない部分もあると思いますので、例えば来年も実施する場合の意見を付したうえで承認という方法もごございます。提案ということではごさいませんが、方法のひとつとして説明させていただきました。

○齊藤 功委員

これまでも補助してきた経緯もありますので、引き続き補助していきたいと思えます。しかしながら、金額的にはこれまでと同額の20万円として、今後も大幅な増額がないように補助したらどうかと思えます。

○会長

今の意見は前年度並みに補助していくということですね。今年の補助金額も20万円ということですか。

○支所長

来年度からは20万円として、今年度は30万円ではいかがでしょうか。

昨年も補助金申請しておりましたが、天候不良で大会を中止しております。

なお、すでに商品等を購入しておりましたが、補助金申請を全額取り消ししております。今年度から旧北神小学校付近の田んぼで開催することになりまして、開催地の条件も変わっております。

また、大会準備も着々と進んでおりまして、開催チラシや新聞記事等で周知していることから、今年に限り補助金を30万円としていただけないでしょうか。

○会長

皆さんいかがでしょうか。来年からは上限が20万円ということで、予算が不足した場合は予算の範囲内で運用していただくということではいかがでしょうか。

○石山 美恵子委員

この残月花火大会の会場が神岡地域なので神岡の地域枠予算を利用するということですか。

○会長

この件については、以前協議した経緯があります。全市的な組織である青年会議所の事業に対して神岡から補助をすることについては、もともと神岡地域で実施していた事業を青年会議所が引き継いで、開催地も従来どおり神岡で開催するため、神岡の地域予算を活用することになりました。

○支所長

3年前に大仙市で観光物産協会が設立されましたが、これまで各地域で開催していた地元のイベント等をそちらに集約するように移行している途中でございます。

しかしながら、この残月花火大会は観光物産協会の観光イベントにも含まれておりませんし、大仙市との協賛事業でもございません。青年会議所の年間事業の中では、この大会が一番大きな事業になっています。今、鈴木会長が言われたとおり、昔から神岡で開催していたイベントということで、青年会議所に移行されてからも神岡の地域予算を活用できるように強く要望されて、現在のように補助金を支出している状況です。

○会長

他に質問はありませんか。ないようであれば、この件について今年度は補助金額30万円といたしますが、来年度以降も大会を開催する場合は補助金額20万円ということで承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。この他の部分について質問はありませんか。

○石山 美恵子委員

資料No.1の平成27年度 地域予算の支出状況についてですが、今後の支出見込みの部分で、ささくら公園の桜維持管理事業の金額が他の事業よりも高額ですが、その理由を教えてください。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

これにつきましては、神岡球場周辺もしくはささくら公園ですが、ご存知のとおり広範囲に桜が植栽されております。昨年実施いたしましたが、広範囲であるために全域を実施できた訳ではございませんでした。なお、昨年度は予算の残額状況を考慮しながら、やれる範囲でテング巢病の対応を行いました。そのため、昨年度に手を掛

けられなかった部分が残っております。今年度も予算の残額状況を考慮しながら剪定範囲を絞って実施したいと思います。この事業は柔軟に対応できる部分です。

○会長

はい。それでは次に進みたいと思います。神岡小学校 PTA から申請のありました、ニコニコサンデーに合わせて今年も、うすと杵をお願いしたいという内容であります。昨年ほうす一つですよ。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

昨年度は、4 升うす一つ。消費税込みで 81,000 円で行いました。補助金額は 5 万円で承認しております。昨年の議事録を確認しましたところ、来年度(今年度)も購入すれば、全ての学年分を取り揃えることができるということで、昨年の協議会の場において承認した訳ではございませんが、来年も購入を予定しているという説明をさせていただきます。

○会長

事務局から昨年度の経緯を説明していただきました。今年度も購入すれば、この件に関して完了するようです。皆さんのご意見はいかがでしょうか。

なければ、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

はい。それでは承認いたします。

資料 No. 2 のⅢ型事業の協議は以上とします。

続いて、Ⅰ型事業について協議いたします。事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

【実施類型Ⅰ型事業調書について、配布資料 No. 3 に基づき説明】

○会長

それでは、Ⅰ型事業について一括で協議したいと思います。皆さんからご意見・ご質問等ございませんか。

桜の植栽の件ですが、見積書を見ますと単価が高いので、だいぶ成長した大きめの苗木を植えるんですね。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。高さが2.5mの苗木を植栽します。昨年度は9本の植栽を行っておりまして、さくらの会の藤井会長のお話しでは、今年度8本の植栽を行うことができれば、来年以降は植栽する必要はないのではないかと伺っております。

○齊藤 亘委員

番号1番の直売所入口に設置するスロープについてですが、木製のスロープですとまた経年劣化で腐食する可能性がありますので、金額が高くなるかもしれませんがアスファルトやコンクリート製の方がいいと思います。直売所スタッフの齊藤恵子委員もいらっしゃいますのでお尋ねいたしますが、そのようなお考えはありませんでしょうか。除雪機が入りやすいように、木製で取り外しできるスロープなのでしょうか。

○齊藤 恵子委員

直売所の玄関前の除雪は、スタッフがスコップで行っています。以前スロープを設置したときは、5万円程度でしたので今回も同程度のものをお願いしました。

もし、可能であればアスファルトやコンクリート製にしていきたいですね。

○会長

一度設置すれば何年くらいもちますかね。

○齊藤 恵子委員

神岡地域に直売所は2箇所ありますが、神宮寺側の直売所は冬期間お休みしますし、スロープの上に屋根があります。こちらは、年間通して営業していますし、屋根もないので野ざらしになっているため、痛みが激しいですね。

○齊藤 亘委員

ここは国土交通省からの借地ですか。

○齊藤 恵子委員

ここは道の駅の借地です。駐車場スペースを2台分借用して直売所を建てています。直売所を建てる際も道の駅さんと協議して許可を得ています。また腐食しましたら道の駅さんと協議して半永久的なスロープを設置してもらいたいと思います。

○会長

その他に質問はありませんか。羽黒山いこいの森の参道の階段補修については、昨年で完了しましたか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主査）

羽黒山いこいの森の参道の階段補修については、今年度が最終年度です。

○支所長

この中に笹台・三峰山・羽黒山とありますが、笹台についてはスキー場の跡地までの道路も草が生い茂っている状態で、今年の6月議会で細谷洋造議員から笹台の整備について一般質問がありました。そこには巨人の足跡^{おおひこ}と伝えられている場所がございますが、最近の小中学生が視察に訪れることもありませんので、実際のところ笹台の整備は遅れております。車1台が通行できるように両側の草刈りは実施しておりますが、それ以上の整備はしていない状況です。あと、羽黒山の方は例年どおり地域枠予算で整備しておりますが、三峰山の山道については、ここ数年風倒木が横たわっておりまして、その都度処理しております。三峰山の山頂に古い東屋がありますが、大雪の影響で傷んでおりまして、まだ補修ができていない状況です。登山される方もほとんどいらっしゃいませんし、山菜取りの方々もそこまでは登っていないようです。

○会長

ほとんど山菜取りの方しか利用していない現状ですね。

○支所長

すくすくだけっこ園では、毎年羽黒山に登っております。

○会長

その他に質問はありませんか。

○鈴木 幸一委員

今年、羽黒山の入口から旧笹台スキー場までの山道を草刈りした際に、3箇所程風倒木がありました。雪が降る前に処分したほうが良いと思います。

○支所長

来年の春先には、その他の箇所でも積雪による倒木箇所があると予想されます。その際にまとめて処分した方が効率的だと思います。

○鈴木 一委員

今年の3月15日に社日で嶽山に登りました。3箇所程、根こそぎ倒木してしまいました。根こそぎ倒れているため、雨水等が溜まって流出する恐れがあると思います。何か対応はできないのでしょうか。

○支所長

山道の中腹より上の方でしょうか。原因は風倒木ということですね。

今年の3月の社日に梵天を奉納したときは、特に倒木で嶽山に登れないという報告はいただいておりますが、合併当時は支所の職員がチェーンソーを持参して取り除いたことはあります。ここ数年は、そのような報告はいただいておりますが心配ですね。

○鈴木 幸一委員

山道を登る際には直接影響ないとは思いますが、景観も好ましくなく大雨が溜まって土砂崩れの原因になる可能性がありますので今回報告させていただきました。

○会長

以上のような要望でしたので、検討をお願いします。この他に質問はありませんか。

○佐々木 徹委員

中川原の桜の補植についてですが、桜の品種がソメイヨシノということで単一の品種であれば、一斉に咲いて一斉に散ってしまいます。八重桜のように長い間咲いている桜を植栽してみてもいいでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

中川原コミュニティー公園内の桜の植栽については、さくらの会の藤井会長からご助言をいただいて実施しております。先日、植栽する場所の選定のために藤井会長や造園業者の方と現場を確認いたしましたが、しだれ桜はソメイヨシノよりも生命力があるということで、実際に植栽作業をするときは生育環境に応じて品種を選択したいと思っております。

○齊藤 亘委員

3番と4番の地域環境整備支援事業の賃金についてですが、時給940円ということですね。市で時給が決められているとは思いますが、作業の内容を考えると940円は安過ぎると思います。ご苦労された作業内容に見合った金額をお支払いできるように配慮していただけないでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。ありがとうございます。我々も常日頃から申し訳ない気持ちで作業をお願いしておりました。940円という賃金の時給単価につきましては、齊藤委員が言われたとおり市で決められた単価でございます。地域枠予算から支出する場合でも、その単

価に準ずる必要があります。この安い単価で大変ご難儀をお掛けしている状況ではありますが、それをご理解の上で作業を引き受けてくださっております。大変ありがたいお言葉を齊藤委員からいただきまして、地域協議会としても大変感謝していることは、作業をされている皆さんにもお伝えしたいと思っております。

○会長

この賃金単価は草刈り機の持ち込みも含まれますか。刃も消耗すると思いますが。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。草刈り機の持ち込みも含まれた市の賃金単価です。

なお、替刃は別に購入しております。我々も申し訳ない気持ちで作業をお願いしておりますが、いつも快く引き受けてくださっております。

○会長

この件については、地域協議会として改善することはできませんが、希望としては大変な重労働ですので、それに見合った金額をお支払いできるように配慮していただきたいと思っております。

他に質問はありませんか。なければI型事業について承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

はい。ありがとうございます。次第の5.の案件については、以上といたします。続いて、次第の6.その他でございますが、事務局から何かございますか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

【平成27年度 神岡地域協議会 視察研修について、配布資料に基づき説明】

【平成27年度 大仙市地域協議会委員研修会について、配布資料に基づき説明】

○会長

他に委員の皆様から何かございますか。

○齊藤 劭委員

まだ、時間があるようですので報告させていただきます。前回の地域協議会で平和中学校の大槌町との交流事業について補助させていただいた件について、9月3日の大槌町の花火大会に参加して参りました。今井校長先生より自治連からも参加いただけないかという依頼がありまして、私と齊藤副会長・荒屋町内会の小林会長・大野市

議会議員・本郷の佐藤一さんとで参加してまいりました。限られた予算内での小規模な花火大会でしたが、花火の合間に平和中学校生徒の思いや大槌町の住民の感謝の言葉などがナレーションされまして、大変良い花火大会でございました。

大槌町吉里吉里中学校との中学生同士の交流もあるかと思ひまして、向こうの中学生も観覧席に来るかと思ひしていましたが、まだ津波のトラウマが残っていて、地域の中学生は、海辺の打ち上げ会場から離れた所から観覧していたようでした。最後に花火を打ち上げた後に、花火師さんと観客とのペンライトを使った挨拶がありました。会場以外の高台の場所からもライトの明かりが多く見えました。

10月11日に今度は、大槌町の一般の方41名が平和中学校の学校祭に来てくださいました。大槌町の花産物の販売や、吉里吉里地区の伝統芸能を披露してくださいました。前日の夜に嶽の湯で交流会がございまして、自治連から8名が参加いたしました。その席で、我々もあちらの自治会と交流したいと依頼いたしました。震災の影響で、今までの自治会組織がなくなっている状態だそうです。住民が移転したままの状態になってしまって、自治会組織の活動が棚上げになってしまっている状況だそうです。これから大槌町と交流する計画を考へてはありますが、向こうのどの様な団体と交流するかについては未定です。自治連としては、向こうの自治会だけでなく、老人クラブ等の様な団体に声掛けして、かみおか地域文化祭等の場に参加していただきたいと考へています。文化祭で三陸地方の特産物を販売していただいて、神岡地域の住民と交流していただきたいと思ひます。

せつかく中学生たちが、すばらしい交流を続けてくれておりますので、地域住民同士の交流に発展していけばいいなと強く感じております。

平中祭では、大槌町の方が海鮮ラーメンやお菓子を販売してございました。非常に良い交流をされていると感じました。以上、報告です。

○会長

はい。本当にご苦勞様でございました。大変盛大だったようですね。私も参加する予定でしたが、身内に不幸がありまして参加することができませんでした。

他に質問はありませんか。

○齊藤 亘委員

先ほど説明がありました、大仙市の地域協議会委員研修会について、大仙市自治基本条例の概要説明があるようですが、当初は各地域協議会に出向いて概要を説明するというような予定だったと思ひます。この研修会の機会に概要説明をして終了なのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

その件については、まちづくり課または総合政策課から特に連絡は来ておりません。

毎年のことですが、この研修会は各地域協議会委員だけでなく、各自治会等の団体も参集されておりまして、実際は地域協議会委員だけが集まる研修ではないようです。

幅広い住民の方々が集まる場で、是非自治基本条例に関する概要説明をしたいということでしたので、後程確認いたしますが各地域協議会へも別に説明があるはずですが、今回は、広く住民の方々に周知するために研修会を通じて概要説明をしたいということだと思います。

○会長

よろしいでしょうか。その他に質問はありませんか。

ないようですので、本日の会議を閉じさせていただきます。大変お疲れ様でした。

○市民サービス課長

以上をもちまして、平成27年度第4回地域協議会を閉会いたします。
本日はありがとうございました。

(11時30分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

石 山 美恵子

工 藤 昌 子
